

CHASEの記入項目 (総論) について

産業医科大学
公衆衛生学教室
松田晋哉

科学的裏付けに基づく介護の考え方について

- エビデンスに基づいた自立支援・重度化予防等を進めるためには、エビデンスに基づいた介護を実践しつつ、科学的妥当性のある情報を収集・解析することによる研究を行い、その成果をフィードバックすることによって更なる科学的介護を推進していくという循環を作ることが必要。
- 一方で、介護領域においては、医療における「治療効果」や「副作用」等のようなわかりやすいコンセンサスが必ずしも存在せず、個々の利用者の様々な価値観がある。
- こうした価値は、必ずしも、現時点で科学的妥当性のある指標で計測できるものではないという点は課題であり、介護保険関係者の理解を尊重して検討を進めて行くことが重要。

(1) ADL等について

排泄	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
入浴	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
更衣	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
整容	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
移乗	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
屋内移動	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
屋外移動	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
階段昇降	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
調理	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態

洗濯	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
掃除	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
起き上がり	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
床位	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
立ち上がり	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態
立位	文字列	10 の位:0 自立 1 見守り 2 ④ 一部介助 3 自立 1 の位:0 課題なし 1 課題あり 例) 見守り かつ 課題無し 10	④	1-1:総論・ 状態

居宅訪問チェックシートは各介護支援専門員がすでにそれぞれが使用しているADL項目と重複するが別途収集する必要があるか検討が必要（参考資料5 P31）。ただし、居宅訪問チェックシートを用いる場合、項目が共通であるというメリットはある。

テーブル名	アセスメント等に関する情報			
項目名称	属性	備考	初期仕様に含める理由	分類
評価日	文字列	「介護保険制度におけるサービスの質の評価に関する調査研究事業」において検討されているデータ項目を記載した日を入力する。	②	1-1：総論・状態
入浴	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
排せつ_排便	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
排せつ_排尿	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
食事摂取	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
更衣_上衣	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
更衣_下衣	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態
個人衛生（洗顔・洗髪・爪切り）	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態

			ていない		
寝返り ¹⁾	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態	
座位の保持 ¹⁾	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態	
座位での乗り降り ¹⁾	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態	
立位の保持 ¹⁾	文字列	0 自分でおこなっている 1 自分でおこなっていない	②	1-1：総論・状態	
尿失禁	文字列	0 なし 1 あり 2 対象外	②	1-1：総論・状態	
便失禁	文字列	0 なし 1 あり 2 対象外	②	1-1：総論・状態	
パルーンカデテルの使用	文字列	0 なし 1 あり	①	1-1：総論・状態	
食事の回数	数値	一日の食事の回数を数値で入力する	①	2-3-1：栄養・状態	
食事量の問題	文字列	0 問題なし 1 問題あり・過食 2 問題あり・小食 8 問題あり・その他	②	2-3-1：栄養・状態	
視力の状況	文字列	0 問題なし 1 問題あり	②	1-1：総論・状態	

安定した歩行を行っていますか	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-1：総論・状態
階段昇降をおこなっていますか	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-1：総論・状態
施設や自宅から外出していますか	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-1：総論・状態
公共交通機関を利用して外出を行っていますか ²⁾	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-1：総論・状態
移動用具の使用状況	文字列	以下の順に、該当しない場合は0、該当する場合は1とし、連続した4桁の数値を入力 ・車いす ・歩行器 ・杖 ・その他 例 移動に器具は用いていない場合 0000 「車いす」及び「歩行器」が該当する場合 1100	②	1-1：総論・状態

これらの項目は各介護支援専門員がすでにそれぞれが使用しているADL項目と重複するが別途収集する必要があるか検討が必要（参考資料5 P31）。

参考資料5 P31の内容

仮にADLなどをこれのみでとるのであれば、分析に資するためにアセスメント手法間の評点の対応表を作成する必要がある。

→研究・検証等を行いつつ、現時点では各アセスメント方式について任意に選択し、入力できる仕組みとしてはどうか。

テーブル名	各アセスメント様式等に関する情報			
	属性	備考	初期仕様に含める理由	分類
評価日	文字列	各アセスメント様式を用いて評価を行った日を入力する。	②	1-1: 総論・伏題
評価方法	文字列	H:包括的自立支援プログラム方式 K:居宅サービス計画ガイドライン方式 M:MDS方式又はMDS-HC方式 R:R4	②	1-1: 総論・伏題
入浴	文字列	入浴の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する	②	1-1: 総論・伏題
排泄	文字列	排泄の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題
排便	文字列	排便の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題
食事介助	文字列	食事介助の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する	②	1-1: 総論・伏題
更衣（上衣）	文字列	更衣（上衣）の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する	②	1-1: 総論・伏題
更衣（下衣）	文字列	更衣（下衣）の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する	②	1-1: 総論・伏題
個人衛生（洗顔・洗髪・爪切り）	文字列	個人衛生（洗顔・洗髪・爪切り）の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する	②	1-1: 総論・伏題
搬送り	文字列	搬送りの状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題
座位の保持	文字列	座位の保持の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題
座位での乗り移り	文字列	座位での乗り移りの状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題
立位の保持	文字列	立位の保持の状況について、各アセスメント様式の評価方法で結果を記載する（評価方法がH/K/Rの場合のみ）	②	1-1: 総論・伏題

テーブル名	日常生活動作に関する情報		
項目名称	属性	備考	初期仕様に含まれる理由
Barthel Index	文字列	以下の順に、括弧内の該当する連続した 10 桁の数字を入力する。ただし、不明の場合は 9 を入力する。 ・食事 (2 自立 1 一部介助 0 全介助) ・移乗 (3 自立 2 軽度の介助で可能 1 高度の介助を必要とするが、座っていられる 0 座位/バランス困難) ・整容 (1 自立 0 一部介助 0 全介助) ・トイレ動作 トイレの使用 (2 自立 1 一部介助 0 全介助) ・入浴 (1 自立 0 一部介助 0 全介助) ・平地歩行 (3 自立 2 一人介助で歩く 1 車いすで自立 0 全介助) ・階段 (2 自立 1 一部介助 0 全介助) ・更衣 (2 自立 1 一部介助 0 全介助) ・排便管理 (2 自立 1 時々失敗 0 失敗) ・排尿管理 (2 自立 1 時々失敗 0 失敗) 例 食事="1", 移乗="2", 整容="1", トイレ動作="1", 入浴="1", 平地歩行="1", 階段="1", 更衣="1", 排便管理="0", 排尿管理="0" の場合は "1211111100" と入力する。	① (2-1-44)
FIM	文字列	以下の順に、全介助の場合は 1、最大介助の場合は 2、中等度介助の場合は 3、最小介助の場合は 4、監視又は準備の場合は 5、修正自立の場合は 6、完全自立の場合は 7、不明の場合は 9 とし、連続した 18 桁の数字を入力 ●食事 ●整容 ●清拭 ●更衣 (上半身) ●更衣 (下半身) ●トイレ ●排尿コントロール ●排便コントロール ●ベッド・車椅子 ●トイレ ●浴槽・シャワー ●歩行・車椅子 ・階段 ・理解 ・表出 ・社会的交流 ・問題解決 ・記憶 例 食事=7, 整容=6, 清拭=7, 更衣 (上半身)=6, 更衣 (下半身)=6, トイレ=6, 排便コントロール=6, 排尿コントロール=5, ベッド・車椅子移乗=7,	① (2-1-45)

		トイレ移乗=7, 浴槽・シャワー移乗=7, 歩行・車椅子移乗=5, 階段移動=4, 理解=5, 表出=5, 社会的交流=6, 問題解決=5, 記憶=5 の場合は "767666657775455655" と入力する。		
--	--	--	--	--

注釈

- 1) 一般に、施設入所者において収集・分析の意義の低いデータである。
- 2) 一般に、在宅高齢者において収集・分析の意義の低いデータである。
- 3) 「○断」で判断し、%表示に変換して記載してもよい。例えば、4 割摂取したと判断し 40 と記載しても差し支えない。
- 4) 5kg 刻みのハンドグリップを用いて測定した場合には、測定できた最大値をもって記載してよい。例えば 15kg のハンドグリップが握れず 10kg が握れた場合に 10 と記載して差し支えない。

いずれのツールも各種加算や医療保険制度等において、すでにそれぞれが使用しているADL項目と重複するものであるが、ADL維持等加算や、通所リハビリマネジメント加算IV、DPC様式等においても採用されているBarthel Indexを共通のADLアセスメントツールとして用いてはどうか。(参考資料5 P31)。これらの項目は評価にあたって既存の文献が数多くあることから、科学的検証にもむいている。→将来的には、共通アセスメント項目として各種アセスメントツールに組み込むことの可能性もあるのではないかと。

(2) 基本的な事項等について

服薬状況	文字列	0 薬をのんでいない 1 薬を飲んでいる 9 不明	① (1-1-24)、 ②	1-1: 総論・介入
飲んでいる場合の薬の種類 ²⁾	文字列	以下の順に、服用していない場合は0、服用している場合は1とし、連続した8桁の数値を入力 ・抗生物質 ・ステロイド ・抗がん剤 ・向精神剤 ・降圧剤 ・鎮痛剤 ・睡眠薬 ・その他 ・不明 例 向精神剤と降圧薬、睡眠薬を服用している場合 000110100 服薬状況が不明の場合は999999999を入力する	②	1-2: 総論・介入
飲んでいる場合の薬の種類数 ²⁾	数値	薬の種類数を整数で入力する	②	1-2: 総論・介入

		不明の場合は9999を入力する		
過去3ヶ月間の入院の有無	文字列	0 なし 1 あり	②	1-3: 総論・イベント
過去3ヶ月間の在宅復帰の有無 ¹⁾	文字列	0 なし 1 あり	②	1-3: 総論・イベント
過去3ヶ月間の骨折の有無	文字列	0 なし 1 あり	②	1-3: 総論・イベント
転倒しましたか	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-3: 総論・イベント
37.5度以上の発熱がありましたか	文字列	0 いいえ 1 はい 9 不明	②	1-3: 総論・イベント

これらの項目は対象者の状態悪化リスクを把握するうえで重要であり収集すべき項目であると考えられる。特に主要な既往歴（骨折、誤嚥性肺炎等感染症、認知症、褥瘡（ステージ）、脳卒中、虚血性心疾患等）の取得は必須。また、薬剤情報については、将来的にNDB等と連結することで、他のDBからの取得も可能。この他、在宅復帰の有無等の情報取得にあたっては、同居人の数・本人との関係性等の情報取得が前提。

身体介護・生活介護のコード分類

取れるのであれば望ましいが、現場に過度の負担を強いることにならないか？

また、ICHI等国际分類を用いることにより、統一的な分類をつくる必要があるではないか。

テーブル名 項目名称	訪問介護におけるサービス内容に関する情報			
	属性	備考	初期仕様に含まれる理由	分類
1010 健康チェック	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1020 環境整備	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1030 相談援助、情報収集・提供	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1040 サービス提供後の記録等	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1111 トイレ利用	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1112 ポータブルトイレ利用	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1113 おむつ交換	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1120 食事介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1130 特設の専門的記録をもって行う調理	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1210 清拭(全身清拭)	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1221 手浴及び足浴	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1222 洗髪	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1230 全身浴	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1240 洗面等	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1250 身体整容	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1260 更衣介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1310 体位変換	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入

1321 移乗	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1322 移動	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1330 通院・外出介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1411 起床介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1412 就寝介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1500 服薬介助	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
1600 自立支援のための見守り的援助 (自立支援、ADL 向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等)	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2010 健康チェック	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2020 環境整備	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2030 相談援助、情報収集・提供	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2040 サービス提供後の記録等	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2100 掃除	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2200 洗濯	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2300 ベッドメイク	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2400 衣類の整理・被服の補修	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2500 一般的な調理、配下膳	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入
2600 買い物・薬の受け取り	文字列	実施の有無を記載する	④	1-2:総論・介入

(3) その他事項等について

興味関心チェックシートの項目

テーブル名	個別機能詳細に関する情報			
項目名称	属性	備考	初期仕様に含める理由	分類
作成日	文字列	チェックシートの作成日を記載する	④	1-1: 総論・状態
自分でトイレへ行く	文字列	興味・関心チェックシートの内容を記載する	④	1-1: 総論・状態
一人でお風呂に入る	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
自分で服を畳む	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
自分で食べる	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
歯磨きをする	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
身だしなみを整える	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
好きなときに限る	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
掃除・整理整頓 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
料理を作る ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
買い物 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
家や庭の手入れ・世話 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態

	列	する		
洗濯・洗濯物たたみ ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
自転車・車の運転 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
電車・バスでの外出 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
茶・子供の世話 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
動物の世話 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
友達とおしゃべり・遊ぶ ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
家族・親戚との団らん ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
デート・異性との交流 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
図書館に行く ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
ボランティア ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
地域活動(町内会・老人クラブ) ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態
お祭り・宗教活動 ²⁾	文字列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・状態

興味関心チェックシートの項目は把握する項目の網羅性、普遍的な分析可能性からCHASEの項目としてすべての入力を要求することの適切性を再検討する必要があるのではないか。また、現場の負担感についてもヒアリングする必要がある。



興味関心チェックシートをまとめて

- 興味のあるアクティビティ（趣味・娯楽）の有無
 - 行っているアクティビティ（趣味・娯楽）の有無
- を把握する程度でよいのではないか（プログラムで対応可能）。内容については各施設のアセスメントレベルで対応することでよいのではないだろうか。

生涯学習・歴史 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
読書 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
俳句 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
書道・習字 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
絵を描く・絵手紙 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
パソコン・ワープロ ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
写真 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
映画・観劇・演劇会 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
お茶・お花 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
歌を歌う・カラオケ ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
音楽を聴く・楽団演奏 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
将棋・囲碁・麻雀・ゲーム等 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
体操・運動 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題

	列	する		
散歩 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
ゴルフ・グラウンドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
ダンス・踊り ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
野球・相撲等観戦 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
総務・総論・総括・バテッコ ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
編み物 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
針仕事 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
畑仕事 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
資金を伴う仕事 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
旅行・温泉 ²⁾	文 字 列	興味がある・してみたい・しているそれぞれの該当・非該当を入力する	④	1-1: 総論・伏題
訪問日	文 字 列	居宅訪問を行った日を記載する	④	-
食事	文 字 列	居宅訪問チェックシートの内容を記載する	④	1-1: 総論・伏題

参考：日常生活圏域ニーズ調査で（本来）把握できる指標

老研式活動能力指標

基本チェックリスト

項目	配点		評価
	1	0	
1 バスや電車を使って一人で外出ができますか	はい	いいえ	手段的 ADL
2 日用品の買い物ができますか	はい	いいえ	
3 自分で食事の用意ができますか	はい	いいえ	
4 請求書の支払ができますか	はい	いいえ	
5 銀行預金、郵便貯金の出し入れが自分でできますか	はい	いいえ	
6 年金などの書類が書けますか	はい	いいえ	知的 ADL
7 新聞などを読んでいますか	はい	いいえ	
8 本や雑誌を読んでいますか	はい	いいえ	
9 健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	いいえ	社会的 ADL
10 友達の家を訪ねることがありますか	はい	いいえ	
11 家族や友達の相談にのることがありますか	はい	いいえ	
12 病人を見舞うことができますか	はい	いいえ	
13 若い人に自分から話しかけることができますか	はい	いいえ	
注) 手段的 ADL スコア (5 点満点)、 知的 ADL スコア (4 点満点)、 社会的 ADL スコア (4 点満点) でそれぞれの ADL を評価する。 総計を高次 ADL スコアとする。 カットオフ値はない。			

(古谷野 互他：地域老人における活動能力の測定－老研式活動能力指標の開発－

日本公衆衛生雑誌 1987;34:109-114)

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付け下さい)	
		0.はい	1.いいえ
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい	1.いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0.はい	1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0.はい	1.いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ
11	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ
12	身長 cm 体重 kg (BMI=) (注)		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1.はい	0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	0.いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1.はい	0.いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく瘦れたような感じがする	1.はい	0.いいえ

(注) BMI(=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))が18.5未満の場合に該当とする。

運動機能の
項目

これらの項目は「見える化システム」でも一部収集されている→CHASEも項目の共通化を意識すべきでは？

参考：日常生活圏域ニーズ調査で（本来）把握できる指標

QUICK8（Questionnaire for Independency Check 8）

1. 80歳以上ですか？	はい(1)	いいえ(0)
2. 日常生活に支障のある病気がありますか？	はい(1)	いいえ(0)
3. 階段を手すりや壁をつたわずに上っていますか？	はい(0)	いいえ(1)
4. この1年間に転んだことがありますか？	はい(1)	いいえ(0)
5. お茶や汁物でむせることがありますか？	はい(1)	いいえ(0)
6. 週に1回以上外出していますか？	はい(0)	いいえ(1)
7. 毎日の生活に充実感がないと感じることがありますか？	はい(1)	いいえ(0)
8. 健康状態はよいですか？	はい(0)	いいえ(1)

主観的健康観の有用性は多くの論文で証明されている。



二次予防該当者の判別結果

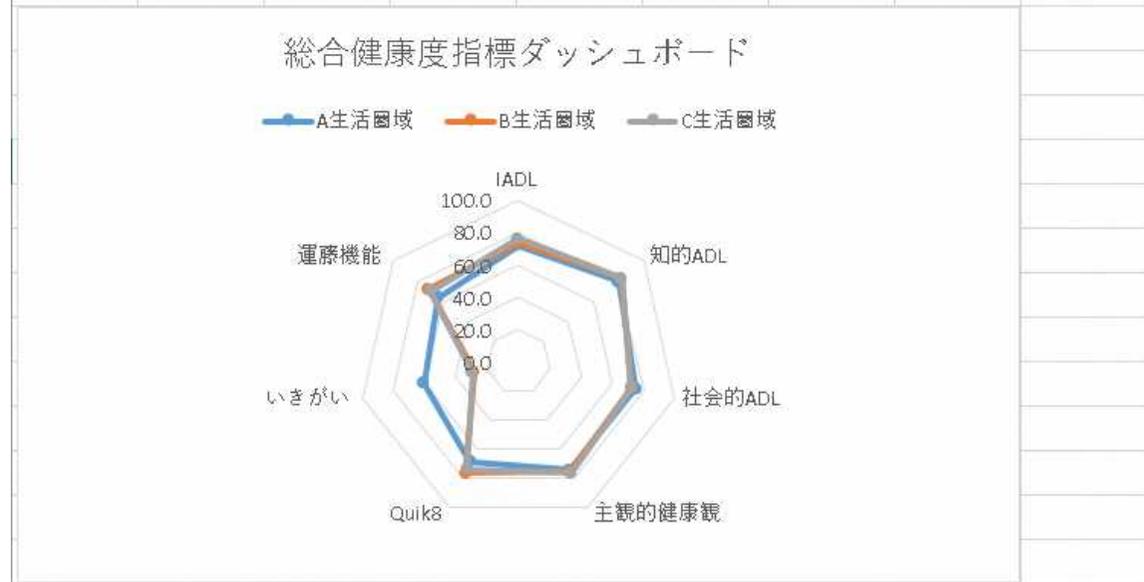
「4項目以上」を採用した場合の感度は1.00、特異度は0.71

「5項目以上」を採用した場合の感度は0.66、特異度は0.88

(Matsuda S and Hayashida K, 2011)

参考： 総合健康指標ダッシュボード

日常生活圏名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quick8	いきがい	運動機能	対象者数
A生活圏域	72.0	80.0	75.0	74.5	68.8	60.3	64.0	1087
B生活圏域	74.0	82.5	72.5	75.4	76.3	28.3	72.0	2111
C生活圏域	76.0	82.5	72.5	76.6	73.8	29.5	70.0	329



調査対象となった3自治体のうち隣接する3自治体のうち隣接する2自治体の3日常生活圏域の総合健康指標ダッシュボードを示したものである（B生活圏域とC生活圏域が同じ自治体）。各生活圏域の地域特性は以下のとおりである。

【A生活圏域】中山間地域の自治体で主たる産業は農業。高齢化率は約50%である。

【B生活圏域】県内の第2の都市に隣接し、郊外のベッドタウンとなっている。高齢化率は約35%である。

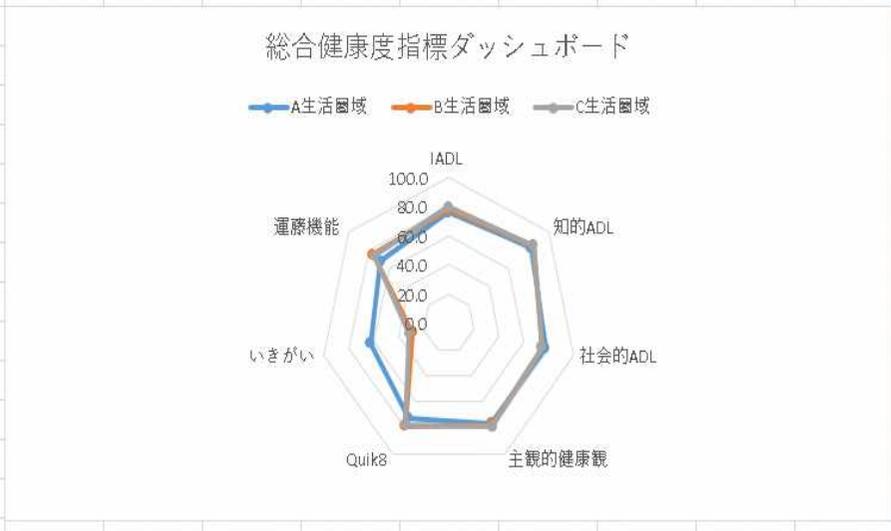
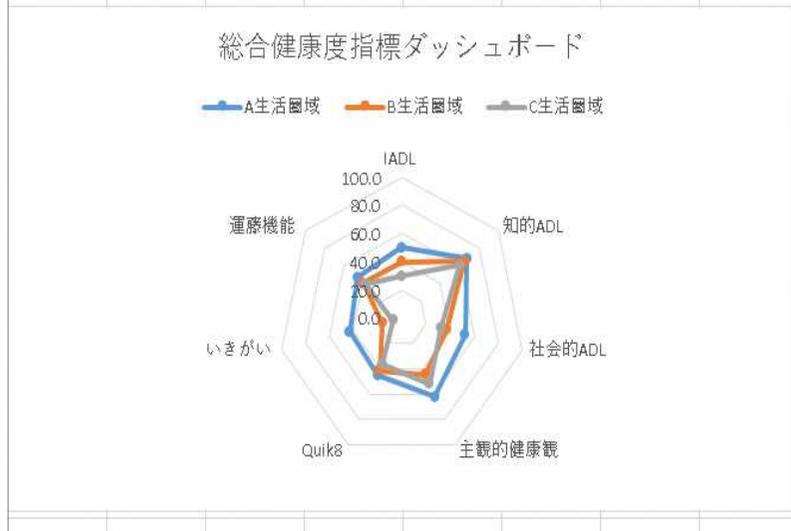
【C生活圏域】当該自治体の市役所等があるが、県内の第2の都市より離れるため、人口減少が大きい。主たる産業は製造業、農業、林業である。高齢化率は35%である。

3生活圏域ともIADL、知的ADL、主観的健康観、Quick8、運動機能のスコアはいずれも70~80で大きな差はないが、いきがいはA生活圏域が60であるのに対し、他の2生活圏域は30弱となっている。

出典： 産業医科大学 2019年3月

参考：総合健康指標ダッシュボード

閉じこもりあり									閉じこもりなし								
日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数	日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数
A生活圏域	50.0	67.5	52.5	62.0	45.0	43.0	46.0	142	A生活圏域	76.0	82.5	77.5	76.4	72.5	62.9	68.0	945
B生活圏域	40.0	65.0	37.5	44.4	41.3	16.0	40.0	144	B生活圏域	78.0	85.0	75.0	77.6	78.8	29.2	76.0	1967
C生活圏域	30.0	60.0	32.5	51.7	36.3	6.9	38.0	29	C生活圏域	80.0	85.0	75.0	79.0	77.5	31.7	74.0	300



閉じこもりの有無別にみた3日常生活圏域の総合健康指標ダッシュボードを示したものである。いきがいのスコアがA生活圏域で相対的に高いという結果は閉じこもりの有無で変わらない。しかしながら、閉じこもりのある群はすべての指標で閉じこもりなしの群よりもスコアが大幅に低くなっている。

出典： 産業医科大学 2019年3月

参考： 総合健康指標ダッシュボード

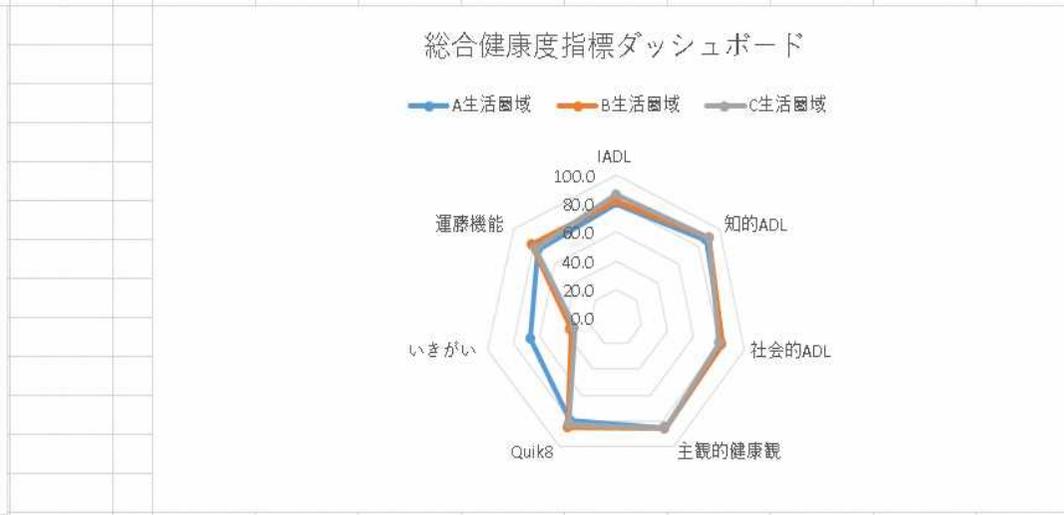
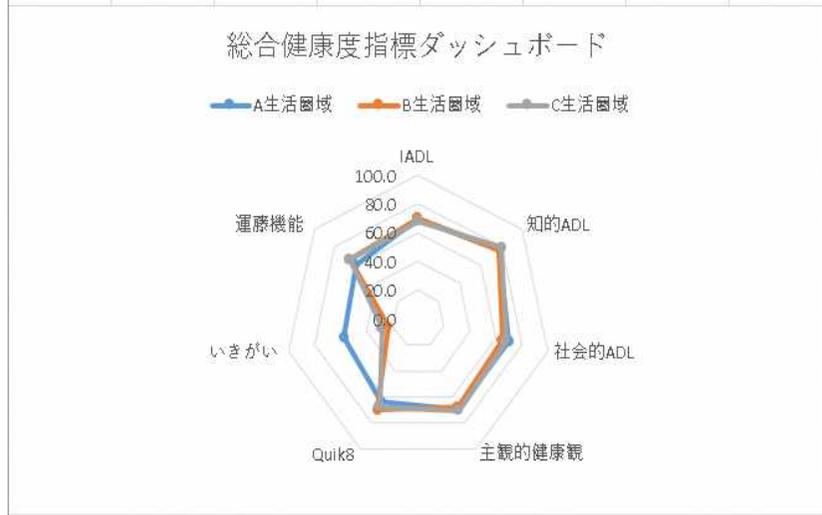


抑うつ傾向の有無別にみた3日常生活圏域の総合健康指標ダッシュボードを示したものである。いきがいのスコアがA生活圏域で相対的に高いという結果は抑うつ傾向の有無で変わらない。しかしながら、抑うつ傾向のある群はすべての指標で抑うつ傾向なしの群よりもスコアが大幅に低くなっている。

出典： 産業医科大学 2019年3月

参考： 総合健康指標ダッシュボード

認知症リスク有									認知症リスク無								
日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数	日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数
A生活圏域	70.0	77.5	70.0	69.3	63.8	57.1	60.0	735	A生活圏域	80.0	87.5	82.5	85.5	80.0	66.8	76.0	352
B生活圏域	70.0	77.5	65.0	67.8	70.0	23.3	66.0	1225	B生活圏域	82.0	90.0	82.5	85.9	85.0	35.1	82.0	886
C生活圏域	68.0	80.0	67.5	70.7	67.5	27.8	66.0	198	C生活圏域	86.0	90.0	80.0	85.5	82.5	32.1	78.0	131



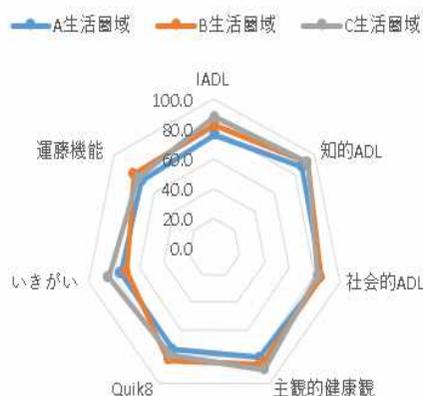
認知症リスクの有無別にみた3日常生活圏域の総合健康指標ダッシュボードを示したものである。いきがいのスコアがA生活圏域で相対的に高いという結果は抑うつ傾向の有無で変わらない。しかしながら、認知症リスクのある群はすべての指標で認知症リスクなしの群よりもスコアが大幅に低くなっている。

出典： 産業医科大学 2019年3月

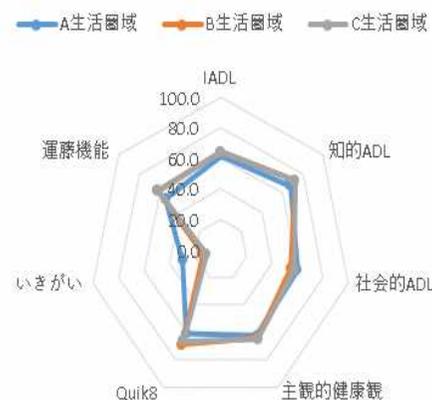
参考：総合健康指標ダッシュボード

趣味あり									趣味なし								
日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数	日常生活圏域名	IADL	知的ADL	社会的ADL	主観的健康観	Quik8	いきがい	運動機能	対象者数
A生活圏域	76.0	87.5	85.0	80.9	75.0	74.6	72.0	209	A生活圏域	62.0	67.5	60.0	62.7	61.3	30.2	54.0	308
B生活圏域	82.0	92.5	85.0	85.2	82.5	70.0	80.0	243	B生活圏域	64.0	72.5	55.0	64.0	68.8	14.4	62.0	478
C生活圏域	88.0	92.5	82.5	89.7	78.8	84.6	76.0	39	C生活圏域	64.0	72.5	57.5	64.8	66.3	11.4	62.0	88

総合健康度指標ダッシュボード



総合健康度指標ダッシュボード



趣味の有無別にみた3日常生活圏域の総合健康指標ダッシュボードを見たものである。趣味があると回答した群では、③生活圏域で各指標のスコアがほぼ同じ値となっている。また、趣味がない群はあるものに比較してすべての指標のスコアが大きく低下する。

出典： 産業医科大学 2019年3月

要介護度別にみた在宅要介護高齢者の傷病の状況 (2017年10月) 東日本の一自治体、男女計、65歳以上



コメント（1）

- ADL、IADLについては類似項目を重複して収集する内容になっている。いくつか割り切りが必要な点があるが、必須収集項目について調査票間の評価の対応表を作成し、アウトプットを統一することが必要ではないか？それにより現場の負荷を低減できる。まずは、報酬等の仕組みの中で活用が進むBarthel Indexを最小限の項目としつつ、アセスメント手法間の評点の対応表を研究・作成していく必要があるのではないか。
- CHASEで集めるデータは個人レベルでの科学的介護の実現に資するものであると同時に、地域単位での評価にも使えるものにするべきではないか。そのためには既存の公的仕組み（見える化システムにおける認定調査票、日常生活圏域ニーズ調査、基本チェックリストなど）の調査項目と類似調査項目については同じフォーマットとすべきではないか。

コメント（２）

- 高齢化の進行に伴って多様な傷病で介護を利用する高齢者が増加している。傷病の種類はケアマネジメントの内容に影響を及ぼす。傷病情報もあわせてとる仕様にすべきではないか（例えば、主治医意見書の活用）。
- 介護サービスの生産性向上には事務作業の省力化が不可欠となる。また、外国人介護労働者が増加することも踏まえ、調査の事務負担を軽減するよう項目の絞り込みと用語およびその評価の明確な定義づけが必要ではないか。
- データ項目については、国際化も視野に入れてICFおよびICHIへの対応を考慮する必要があるのではないか。